国土交通省

「世界の北海道」を目指して
―北海道総合開発計画―

「鵡川河口オオハンゴンソウ（特定外来生物）防除」を行いました

治水課
鵡川沙流川河川事務所

8月19日（土）、鵡川右岸のむかわ町洋光地先において、地域住民と協働作業によるオオハンゴンソウ防除を行いました。

協働作業による防除は、平成23年から実施しており、今年で13年目を迎えました。鵡川河口の特徴的で自然豊かな環境と自然景観を維持するため、干潟及びその周辺の湿地への特定外来生物オオハンゴンソウの侵入・定着を防止することを目的としています。

地元むかわ町や地域で活動する、河川協力団体「ネイチャー研究会inむかわ」の協力のほか、今年もむかわ町職員・室蘭開発建設部職員・室蘭開建調査受注者も含め21名の参加がありました。

今年度は、これまで左岸側の汐見地先で実施していましたが、人工干潟付近にもオオハンゴンソウの定着が確認されたことから、実施場所を右岸側に変更し、確認されたオオハンゴンソウについて、全て防除作業を行いました。

室蘭開発建設部では、鵡川河口域の良好な自然環境の保全に向けて、地域の皆さまと協働で活動に取り組んでいます。

実施位置（鵡川河口右岸）

これまでの取組み状況や生態の説明

オオハンゴンソウ防除の様子

オオハンゴンソウ防除（抜き取り）成果物